

第5章 その他

5.1 検討会の設置・運営

本業務では、2つの検討会および3つのワーキンググループを設置し、その運営を行った。各検討会等の委員と開催概要を下記に示す。

なお、開催形式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全ての検討会等はオンライン開催とした。

5.1.1 再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査・利活用検討会

(1) 会議の目的

本業務のうち、「地域の脱炭素化の促進に向けた REPOS の整備等」と「再エネポテンシャルの充実・精緻化」に係る業務内容の妥当性検証等を目的とする。

(2) 委員

検討会委員を表 5.1-1 に示す。

表 5.1-1 再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査・利活用検討会委員

所属・役職	氏名 (敬称略・五十音順)
一般社団法人太陽光発電協会 公共産業事業推進部長	井上 康美
早稲田大学大学院 環境・エネルギー研究科 教授	小野田弘士
茨城大学 名誉教授	小林 久
公益財団法人自然エネルギー財団 特任研究員	斉藤 哲夫
一般社団法人日本風力発電協会 理事 企画部長	斉藤 長
特定非営利活動法人地中熱利用促進協会 理事長	笹田 政克
全国小水力利用推進協議会 事務局長	中島 大
国立研究開発法人産業技術総合研究所 名誉リサーチャー	野田 徹郎
横浜国立大学大学院 環境情報研究院 教授	本藤 祐樹

(3) 開催概要

利活用検討会の開催概要を表 5.1-2 に示す。

表 5.1-2 再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査・利活用検討会開催概要

回	開催日時	議題
第1回	令和3年7月12日 15:00~17:00	1. 再エネを促進する区域や再エネの目標の設定を支援するための情報整備 1.1 促進区域検討支援ツールについて 1.2 再エネ目標設定支援ツールについて 2. 地域の脱炭素化促進の取組を後押しするための情報整備 2.1 自治体単位の情報整備について 2.2 REPOSの画面改良について 3. 再エネポテンシャルの充実・精緻化
第2回	令和3年10月18日 15:00~17:00	1. 再エネポテンシャルの充実・精緻化 2. 地域の脱炭素化の促進に向けたREPOSの整備等支援 2.1 地域脱炭素化におけるREPOSの役割 2.2 支援ツールについて 2.2.1 促進区域検討支援ツールについて 2.2.2 再エネ目標設定支援ツールについて 2.3 地域の脱炭素化促進の取組を後押しするための情報整備 2.3.1 自治体単位の情報整備案について
第3回	令和4年3月11日 10:00~12:00	1. 再エネポテンシャルの充実・精緻化 1.1 太陽光の導入ポテンシャル情報の精緻化 1.2 陸上風力の導入ポテンシャル情報の精緻化 1.3 木質バイオマスの導入ポテンシャル情報の推計 1.4 FIT制度の改正を踏まえたシナリオ別導入可能量の推計方法の検討 2. 地域の脱炭素化の促進に向けたREPOSの整備等 3. 次世代REPOSの検討

5.1.2 太陽光ワーキンググループ

(1) 会議の目的

太陽光のポテンシャル推計手法に係る妥当性検証等を目的とする。

(2) 委員

太陽光ワーキンググループの委員を表5.1-3に示す。

表 5.1-3 太陽光ワーキンググループ委員

所属・役職	氏名 (敬称略・五十音順)
一般社団法人太陽光発電協会 公共産業事業推進部長	井上 康美
国立研究開発法人 産業技術総合研究所 再生可能エネルギー研究センター 太陽光システムチーム 研究チーム長	大関 崇
株式会社資源総合システム 企画部長・主席研究員	貝塚 泉

所属・役職	氏名 (敬称略・五十音順)
公益財団法人自然エネルギー財団 特任研究員	斉藤 哲夫
株式会社NTT ファシリティーズ 経営企画部渉外イノベーション推進室 担当部長	田中 良

(3) 開催概要

太陽光ワーキンググループの開催概要を表 5.1-4 に示す。

表 5.1-4 太陽光ワーキンググループ開催概要

回	開催日時	議題
第1回	令和3年7月5日 13:00~15:00	<ol style="list-style-type: none"> 1. 太陽光の導入ポテンシャル情報の精緻化 <ol style="list-style-type: none"> 1.1 過年度の太陽光発電の導入ポテンシャル推計の概要 1.2 太陽光推計カテゴリーの見直し 1.3 設置係数・地域別発電量係数の設定 1.4 水上等の推計方法の検討 1.5 農地の推計精度向上の検討 2. 過去の再エネ資源量実績データを活用した新たなポテンシャル情報の推計 <ol style="list-style-type: none"> 2.1 REPOS における提供方法・提供価値の検討 2.2 実績データを活用した推計手法の検討
第2回	令和3年9月27日 15:00~17:00	<ol style="list-style-type: none"> 1. 太陽光の導入ポテンシャル情報の精緻化 <ol style="list-style-type: none"> 1.1 太陽光推計に使用する係数・条件の設定 1.2 水上等の推計方法の検討 1.3 農地の推計精度向上の検討 2. 過去の再エネ資源量実績データを活用した新たなポテンシャル情報の推計 <ol style="list-style-type: none"> 2.1 REPOS における提供方法・提供価値の検討 2.2 実績データを活用した推計手法の検討
第3回	令和4年1月7日 13:00~15:00	<ol style="list-style-type: none"> 1. 太陽光の導入ポテンシャル情報の精緻化 <ol style="list-style-type: none"> 1.1 推計カテゴリーの見直しについて 1.2 太陽光推計に使用する係数・条件の設定について 2. 太陽光の事業性を考慮した導入ポテンシャルの推計手法の検討 <ol style="list-style-type: none"> 2.1 各推計カテゴリーにおける導入モデルの設定について 2.2 事業性試算条件と各推計カテゴリーにおける条件値の設定について 3. 過去の再エネ資源量実績データを活用した新たなポテンシャル情報の推計 <ol style="list-style-type: none"> 3.1 REPOS における提供方法・提供価値の検討について 3.2 太陽光発電の時空間ポテンシャル推計について

5.1.3 陸上・洋上風力ワーキンググループ

(1) 会議の目的

陸上・洋上風力のポテンシャル推計手法に係る妥当性検証等を目的とする。

(2) 委員

陸上・洋上風力ワーキンググループの委員を表 5.1-5 に示す。

表 5.1-5 陸上・洋上風力ワーキンググループ委員

所属・役職	氏名 (敬称略・五十音順)
公益財団法人自然エネルギー財団 特任研究員	斉藤 哲夫
一般社団法人日本風力発電協会 理事 企画部長	斉藤 長
戸田建設株式会社 戦略事業推進室 浮体式洋上風力発電事業部 部長	佐藤 郁

(3) 開催概要

陸上風力ワーキンググループの開催概要を表 5.1-6 に示す。

表 5.1-6 陸上風力ワーキンググループ開催概要

回	開催日時	議題
第1回	令和3年7月6日 13:00~15:00	1. 陸上風力の導入ポテンシャル情報の精緻化 1.1 ハブ高見直しに伴う設備利用率等の見直し 1.2 導入ポテンシャル推計前提条件の設定 2. 過去の再エネ資源量実績データを活用した新たなポテンシャル情報の推計 2.1 REPOS における提供方法・提供価値の検討 2.2 実績データを活用した推計手法の検討
第2回	令和3年10月1日 15:00~17:00	1. 陸上風力の導入ポテンシャル情報の精緻化 1.1 陸上風力の導入ポテンシャル推計精緻化の検討 1.2 導入ポテンシャルと既設設備位置の調査 1.3 陸上風力発電の推計自動化に関する報告 2. 過去の再エネ資源量実績データを活用した新たなポテンシャル情報の推計 2.1 REPOS における提供方法・提供価値の検討 2.2 実績データを活用した推計手法の検討

5.1.4 バイオマスワーキンググループ

(1) 会議の目的

バイオマスのポテンシャル推計手法に係る妥当性検証等を目的とする。

(2) 委員

バイオマスワーキンググループの委員を表 5.1-7 に示す。

表 5.1-7 バイオマスワーキンググループ委員

所属・役職	氏名 (敬称略・五十音順)
公益財団法人自然エネルギー財団 上級研究員	相川 高信
一般社団法人日本木質バイオマスエネルギー協会 室長	澤田 直美
東北大学 大学院工学研究科 技術社会システム専攻 教授	中田 俊彦
国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所 木材加工・特性研究領域バイオマス利用システムチーム長	柳田 高志
一般社団法人日本有機資源協会 専務理事	柚山 義人

(3) 開催概要

バイオマスワーキンググループの開催概要を表 5.1-8 に示す。

表 5.1-8 バイオマスワーキンググループ開催概要

回	開催日時	議題
第1回	令和3年7月1日 15:00~17:00	1. 木質バイオマスポテンシャル推計方法の基本方針の確立 2. 木質バイオマス賦存量の推計方法の詳細検討
第2回	令和3年10月21日 10:00~12:00	1. 木質バイオマスポテンシャル推計方法の基本方針の確立 2. 木質バイオマス賦存量の推計方法の詳細検討 3. 導入ポテンシャル及びシナリオ別導入可能量の推計方法の基礎検討
第3回	令和4年1月11日 13:00~15:00	1. 木質バイオマス賦存量の推計 2. 次年度に向けた都道府県レベルにおける実証試験の基礎検討 3. 事業性を考慮した導入ポテンシャル (=旧シナリオ別導入可能量) 推計方法の基礎検討

5.1.5 次世代 REPOS の在り方検討会

(1) 会議の目的

次世代 REPOS 構築における基本方針や想定ユーザー、ユースケース等の検討を目的とする。

(2) 委員

次世代 REPOS の在り方検討会の委員を表 5.1-9 に示す。

表 5.1-9 次世代 REPOS の在り方検討会委員

所属・役職	氏名 (敬称略・五十音順)
東京大学 エネルギーシステムインテグレーション 社会連携研究部門 特任教授	岩船 由美子
早稲田大学大学院 環境・エネルギー研究科 教授	小野田 弘士
国立研究開発法人国立環境研究所 地域環境創生研究室長	五味 馨
横浜市 温暖化対策統括本部企画調整部 担当部長	高橋 一彰
東京大学 工学系研究科 技術経営戦略学専攻 准教授	田中 謙司
一般社団法人再生可能エネルギー地域活性協会 幹事長	西田 恵介
早稲田大学 理工学術院 先進理工学部 教授	林 泰弘
グリッドデータバンク・ラボ有限責任事業組合 チーフディレクター	平井 崇夫
東京電力ホールディングス株式会社 技術統括室	矢田部 隆志
小田原市 環境部 エネルギー政策推進課 課長	山口 一哉

(3) 開催概要

次世代 REPOS の在り方検討会の開催概要を表 5.1-10 に示す。

表 5.1-10 次世代 REPOS の在り方検討会開催概要

回	開催日時	議題
第1回	令和3年7月28日 15:00~17:00	1. 次世代 REPOS の開発の方向性について 2. スマートメーターと航空画像の活用方向性 3. 陸上風力導入ポテンシャルを対象とした推計手法の自動化検討
第2回	令和3年11月19日 10:00~12:00	1. 次世代 REPOS における提供価値と機能 1.1 次世代 REPOS の方向性 1.2 現行から次世代への主な変更点 1.3 次世代 REPOS 画面・機能イメージ例①—自治体再エネ導入計画策定支援機能 1.4 次世代 REPOS 画面・機能イメージ例②—再エネ導入実績確認機能 1.5 次世代 REPOS 画面・機能イメージ例③—双方向性機能 2. 次世代 REPOS Pre-Site 構築について 2.1 Pre-Site 構築の意義 2.2 次世代 REPOS (Pre-Site) のスコープ
第3回	令和4年2月10日 15:00~17:00	1. 次世代 REPOS における提供価値と機能 1.2 使用パターン<ユースケース>について 1.3 双方向性の在り方について

回	開催日時	議題
		2. UI/UX 向上に向けた検討 2.1 UI/UX の向上に資する画面イメージのコンセプト 2.2 画面デザイン 3. 次世代 REPOS Pre-Site について 3.1 Pre-Site の公開範囲 3.2 Pre-Site の要件定義進捗について

5.2 問い合わせ対応

環境省に届いた REPOS に関連する問合せについては、一元的に受け付けるメールアドレスを割り当て対応した。問い合わせは、地方公共団体、コンサルタント、事業者、研究機関等から合計 61 件あり、メールにより対応した。

5.3 資料作成支援

再エネポテンシャルや REPOS 関連情報について、環境省担当官の求めに応じて資料作成の支援を行った。

表 5.3-1 支援資料の概要

No	支援資料	概要
1	データ提供・連携申請文書	<ul style="list-style-type: none"> 他省所管データの提供について、利用目的、提供情報、データの取扱い等を記載した文書案を作成 EADAS 情報についての掲載許諾申請を行うための依頼文書案を作成
2	推計方法説明資料	<ul style="list-style-type: none"> 過年度の太陽光推計方法の説明資料を作成 ため池推計方法の説明資料を作成 木質バイオマス推計方法の説明資料を作成
3	提言・意見への回答	<ul style="list-style-type: none"> 地熱発電のポテンシャル推計にかかる有識者意見に対する対応方針案を作成 太陽光発電のポテンシャル推計にかかる業界団体意見に対する対応方針案を作成

5.4 新規ニーズへの対応

新たな対応すべき事項として、以下の対応を行った。

5.4.1 REPOS の改修内容、支援ツールへ自治体ニーズを収集するためのヒアリングの実施

再エネに係る先進的な取組事例を有する自治体にヒアリングを実施した。詳細については、「第 2 章地域の脱炭素化の促進に向けた REPOS の整備等 2.1 基本的事項の整理 2.1.4 自治体ヒアリング」に示した。

5.4.2 自治体再エネ情報カルテへの熱利用に関する導入実績の掲載

熱利用に関する取り組みを後押しするため、熱利用に関わる以下の導入実績情報を自治体再エネカルテに掲載することが要望としてあげられた。

- ①地中熱の導入実績
- ②太陽熱の導入実績
- ③木質バイオマスの導入実績

①地中熱の導入実績、②太陽熱の導入実績については、情報を有する関係機関からデータを入手し、搭載方法の検討および搭載データの作成を行い、REPOS への搭載を行った。

③木質バイオマスの導入実績については、情報項目が多様であり搭載すべき情報の検討に時間を要することが判明したため、今年度は情報の整理にとどめた。

搭載データの状況については、「第 2 章地域の脱炭素化の促進に向けた REPOS の整備等 2.3 地域の脱炭素化促進の取組を後押しするための情報整備」に示した。

5.4.3 陸上風力発電の既設設備位置と開発不可条件との関係の調査

検討会及びワーキンググループにおける意見を汲み、地図上にプロットされた既設の陸上風力発電設備の位置と R1 年度陸上風力の導入ポテンシャルで設定した開発不可条件との関係を調査し、各開発不可条件と重なる風車基数を整理した。

調査結果については、「第 3 章 再エネポテンシャルの充実・精緻化 3.2.2 陸上風力発電の導入ポテンシャル情報の精緻化」に示した。

5.4.4 概要資料導入編の更新

令和 3 年度時点で REPOS 上に公開している導入ポテンシャルの推計方法を整理している資料は、各年度の調査報告書の他、「概要資料導入編」、「概要資料」、「取りまとめ資料」がある。そのうち、概要資料導入編について、本業務で実施した導入ポテンシャルの精緻化（太陽光及び陸上風力の導入ポテンシャルの推計手法の見直し）の内容を反映させる資料の更新を実施した。更新した資料は、令和 4 年 4 月以降、REPOS 上で公開する予定である。

概要資料、取りまとめ資料の更新については、令和 4 年 4 月以降の対応について環境省担当官と協議して決定する。

5.4.5 次世代 REPOS プレサイトの検討

次世代 REPOS では、当初 2024 年度末整備、2025 年度期首にリリースを想定しているが、検討の中で、次世代 REPOS の立ち上げに先立ち Pre-Site を開設し（2022 年度末整備、2023 年度期首よりトライアル公開）、機能・ツールの使い勝手のフィードバック等の収集を行ったうえで、Pre-Site を改善・増強することで、Full-Site を円滑に立ち上げることが求められた。そこで、Pre-Site の構築に向けて、具体的な検討を実施した。検討結果は、「第 4 章

次世代 REPOS の検討 4.3 次世代 REPOS の開発ロードマップ及び要件定義等の検討」に示した。

5.5 品質管理

5.5.1 品質管理基本方針の策定

本年度の現行 REPOS 改修の中で新たに追加された「促進区域検討支援ツール」、「再エネ目標設定支援ツール」、「自治体再エネ情報カルテ」について、品質管理を行った。品質管理の方針として、各ツールが求められる仕様を満たしているか確認するため、UAT（ユーザ受入れテスト）を行った。

5.5.2 管理ツールの作成

UAT を行うにあたり、図 5.5-1 UAT チェック表イメージ図 5.5-1 に示すようなチェックリストを作成した。チェック項目は、各ツールの要件定義書の項目と対になるように設定した。また、デバイスはパソコンを使用し、主なウェブブラウザである Google Chrome と Microsoft Edge の 2 パターンにより確認することとした。

自治体再エネ情報カルテUAT検証項目

#	ツール	分類1	分類2	テスト内容	テスト手順	前提	想定結果	テスト結果	実施日	条件			実施者	備考欄
										デバイス	ブラウザ	自治体		
3-1	自治体再エネ情報カルテ	自治体再エネ情報カルテ	別タブ表示	・選択自治体の、自治体再エネ情報カルテの内容がDBから値が取得された状態で別タブで表示されるか検証する ・以下の項目が出力されるか検証する ・ポテンシャルに関する情報 ・導入実績に関する情報 ・需要量に関する情報 ・関連情報	①行政区域を選択する (都道府県 CR、市町村) ②自治体を選択し、ポップアップで「自治体再エネ情報カルテ」を選択する	「地域脱炭素化支援ツール」で出力する自治体を選択されている	選択された自治体の、自治体再エネ情報カルテの内容がDBから値が取得された状態で別タブで表示される。出力項目は「ポテンシャルに関する情報」、「導入実績に関する情報」、「需要量に関する情報」、「関連情報」である。							
3-2	自治体再エネ情報カルテ	Excel出力	ファイル出力	・自治体再エネ情報カルテのExcelファイルが出力されるか検証する	①行政区域を選択する (都道府県 CR、市町村) ②自治体を選択し、ポップアップで「自治体再エネ情報カルテ」を選択する ③自治体再エネ情報カルテの画面から自治体再エネ情報カルテのリンクをクリックする	すでに自治体再エネ情報カルテが別タブで表示されている	別タブで表示された自治体再エネ情報カルテの画面から自治体再エネ情報カルテのリンクをクリックすると、自治体再エネ情報カルテのExcelファイルが出力される。							
3-3	自治体再エネ情報カルテ	Excel出力	概要版 (Excelシート)	・以下の項目が正しく挿入されるか検証する ・都道府県・市町村名 ・都道府県・市町村コード ・DBから値を取得する項目	①3-2 ②ダウンロードしたExcelで「概要版」のシートを開く	すでに自治体再エネ情報カルテが別タブで表示されている	都道府県・市町村名と都道府県・市町村コードと、DBから値を取得する項目にデータが挿入された状態でExcelファイルが出力される。							
3-4	自治体再エネ情報カルテ	Excel出力	詳細版 (Excelシート)	・以下の項目が正しく挿入されるか検証する ・都道府県・市町村名 ・都道府県・市町村コード ・DBから値を取得する項目	①3-2 ②ダウンロードしたExcelで「詳細版」のシートを開く	すでに自治体再エネ情報カルテ概要版が別タブで表示されている	都道府県・市町村名と都道府県・市町村コードと、DBから値を取得する項目にデータが挿入された状態でExcelファイルが出力される。							
3-5	自治体再エネ情報カルテ	Excel出力	詳細版太陽光 (Excelシート)	・以下の項目が正しく挿入されるか検証する ・都道府県・市町村名	①3-2 ②ダウンロードしたExcelで「詳細版太陽光」のシートを開く	すでに自治体再エネ情報カルテ概要版が別タブで表示されている	都道府県・市町村名と都道府県・市町村コードと、DBから値を取得する項目にデータが挿入された状態でExcelファイルが出力される。							

図 5.5-1 UAT チェック表イメージ

5.5.3 品質管理の実施

前述の UAT チェック表を基に、「促進区域検討支援ツール」、「再エネ目標設定支援ツール」、「自治体再エネ情報カルテ」の UAT を実施し、すべてのツールが要件定義書に示された仕様を満たしていること、前述の 2 ブラウザにて正常に機能することを確認した。UAT の結果は環境省担当官へ報告した。

5.6 REPOSのUI/UXの向上

本業務内において整備した内容について、ユーザーの求めるUXを想定し、UIの向上を実施した。実施内容を表5.6-1に示す。

表 5.6-1 UI/UXの向上に向けた改修

UX内容	UI改修内容
GIS画面で任意の範囲を表示している場合に、表示されている自治体単位での情報の比較が行える。	再生可能エネルギー導入ポテンシャルメニューで表示しているマップの範囲で、自治体別集計マップ（都道府県別・市町村別）を別タブで表示させる。また、自治体別集計マップから同じ表示範囲で再生可能エネルギー導入ポテンシャルメニューの各エネルギー種の地図画面を表示させる。
GIS画面で任意の範囲を表示している場合に、表示されている自治体の促進区域の検討が行える。	再生可能エネルギー導入ポテンシャルメニューで表示しているマップの範囲で、地域脱炭素化支援ツールの地図画面を別タブで表示させ、各種ツールに移行させる。また、促進区域検討支援ツールから同じ表示範囲で再生可能エネルギー導入ポテンシャルメニューの各エネルギー種の地図画面を表示させる。
各エネルギー種の地図画面だけでなく、推計結果の概要とデータ利活用方法へ簡易に遷移できる。	トップページの各エネルギー種のアイコンをクリックすると、ポップアップが表示され、データ概要ページまたは地図画面を選択して表示させる。
各地図画面のページに分かれている情報を、一元管理した情報として閲覧できる。	促進区域検討支援ツールや再生可能エネルギー導入ポテンシャルメニューに搭載したレイヤを全て搭載した地図画面を作成

5.7 REPOSへのデータ搭載及び調整

5.7.1 調整内容の設計

本業務において整備・作成したデータのうち、表5.7-1に示したデータをREPOSに搭載した。

表 5.7-1 搭載したデータとREPOSの調整内容

番号	搭載データ	REPOS調整内容
1	自治体別情報	・データ整備
2	ゾーニング関連情報/ 事業計画認定情報（FIT認定設備の概略位置）	・レイヤ構成の変更 ・EADAS連携
3	ポテンシャル情報 （今期推計データ）	・レイヤ構成の変更 ・ポテンシャルデータ情報取得機能作成
4	ポテンシャル推計基礎情報/ 資源量に関する基礎情報/ 推計除外条件データ	・レイヤ構成の変更 ・EADAS連携
5	中小水力FIP情報	・レイヤ構成の変更 ・FIP情報表示機能作成

(1) 自治体別情報

1) 自治体別情報の設計

自治体別情報のデータは自治体再エネ情報カルテと目標設定支援ツールで使用するデー

タであることから、DBでのデータ管理を行うこととし、表 5.7-2～表 5.7-8 に示すテーブル設計を行った。

表 5.7-2 ポテンシャル情報テーブル

フィールド名	データ型	データ概要
prefcode	character varying	都道府県コード
prefname	character varying(20)	都道府県名
citycode	character varying	市町村コード
cityname	character varying(20)	市町村名
information_class	character varying(20)	情報区分
renewable_energy_class	character varying(50)	再エネ区分
class1	character varying(50)	区分 1
class2	character varying(50)	区分 2
class3	character varying(50)	区分 3
class4	character varying(50)	区分 4
endowment	double precision	賦存量(kW, kWh/年)
potential	double precision	導入ポテンシャル(kW, kWh/年)
unit	character varying(20)	単位(kW, kWh/年)
Endowment_2	double precision	賦存量(MW, MWh/年)
Potential_2	double precision	導入ポテンシャル(MW, MWh/年)
Unit_2	character varying(20)	単位(MW, MWh/年)

表 5.7-3 ポテンシャル情報_合計値テーブル

フィールド名	データ型	データ概要
prefcode	character varying	都道府県コード
citycode	character varying	市町村コード
information_class	character varying(20)	情報区分
renewable_energy_class	character varying(50)	再エネ区分
class1	character varying(50)	区分 1
class2	character varying(50)	区分 2
class3	character varying(50)	区分 3
class4	character varying(50)	区分 4
endowment	double precision	賦存量(kW, kWh/年)
potential	double precision	導入ポテンシャル(kW, kWh/年)
unit	character varying(20)	単位(kW, kWh/年)
Endowment_2	double precision	賦存量(MW, MWh/年)
Potential_2	double precision	導入ポテンシャル(MW, MWh/年)
Unit_2	character varying(20)	単位(MW, MWh/年)

表 5.7-4 導入実績等テーブル

フィールド名	データ型	データ概要
prefcode	character varying	都道府県コード
citycode	character varying	市町村コード
information_class	character varying(20)	情報区分
year	character varying(20)	対象年
sunlight_under10kw	double precision	太陽光発電 (10kW 未満) kW

フィールド名	データ型	データ概要
sunlight_over10kw	double precision	太陽光発電 (10kW 以上) kW
wind_kw	double precision	風力発電 kW
water_kw	double precision	水力発電 kW
geothermal_kw	double precision	地熱発電 kW
biomass_kw	double precision	バイオマス発電 kW
total_kw	double precision	合計 kW
sunlight_under10kw_year	double precision	太陽光発電(10kW 未満) kWh/年
sunlight_over10kw_year	double precision	太陽光発電(10kW 以上) kWh/年
wind_kw_year	double precision	風力発電 kWh/年
water_kw_year	double precision	水力発電 kWh/年
geothermal_kw_year	double precision	地熱発電 kWh/年
biomass_kw_year	double precision	バイオマス発電 kWh/年
total_kw_year	double precision	合計 kWh/年
sunlight_under10kw_mw	double precision	太陽光発電 (10kW 未満) MW
sunlight_over10kw_mw	double precision	太陽光発電 (10kW 以上) MW
wind_mw	double precision	風力発電 MW
water_mw	double precision	水力発電 MW
geothermal_mw	double precision	地熱発電 MW
biomass_mw	double precision	バイオマス発電 MW
total_mw	double precision	合計 MW
sunlight_under10kw_mwh_year	double precision	太陽光発電(10kW 未満) MWh/年
sunlight_over10kw_mwh_year	double precision	太陽光発電(10kW 以上) MWh/年
wind_mwh_year	double precision	風力発電 MWh/年
water_mwh_year	double precision	水力発電 MWh/年
geothermal_mwh_year	double precision	地熱発電 MWh/年
biomass_mwh_year	double precision	バイオマス発電 MWh/年
total_mwh_year	double precision	合計 MWh/年

表 5.7-5 需要量等①テーブル

フィールド名	データ型	データ概要
prefcode	character varying	都道府県コード
citycode	character varying	市町村コード
information_class	character varying(20)	情報区分
year	character varying(20)	対象年
power_total	double precision	電力合計
unit	character varying(20)	単位 MWh/年

表 5.7-6 需要量等②テーブル

フィールド名	データ型	データ概要
prefcode	character varying	都道府県コード
citycode	character varying	市町村コード
information_class	character varying(20)	情報区分
year	character varying(20)	対象年
heat_demand	double precision	熱需要量
unit	character varying(20)	単位 GJ/年

表 5.7-7 施策情報①テーブル

フィールド名	データ型	データ概要
prefcode	character varying	都道府県コード
citycode	character varying	市町村コード
information_class	character varying(20)	情報区分
class1	character varying(20)	区分 1
class2	character varying(256)	区分 2
policy_information	character varying(256)	施策情報

表 5.7-8 施策情報②テーブル

物理 フィールド名	データ型	データ概要
prefcode	character varying	都道府県コード
citycode	character varying	市町村コード
information_class	character varying(20)	情報区分
zeroCarbon	character varying(20)	ゼロカーボン表明

(2) ゾーニング関連情報/事業計画認定情報 (FIT 認定設備の概略位置)

ゾーニング関連情報/事業計画認定情報 (FIT 認定設備の概略位置) は、EADAS との API 連携により各画面の GIS にレイヤとして搭載できるよう、データ設計を行った。今期の改修で追加搭載したデータを表 5.7-9、表 5.7-10 に示した。

表 5.7-9 ゾーニング関連情報 搭載データ

番号	搭載レイヤ	搭載手法
1	生息地等保護区	EADAS 連携
2	保安林 (国有林・民有林)	
3	森林地域 (土地利用基本計画)	
4	国有林	
5	都市計画用途地域	
6	道路 (道路分類)	
7	道路 (幅員区分)	
8	山地災害危険地区 (国有林)	
9	学校	
10	病院、診療所	
11	福祉施設	
12	図書館	
13	基盤地図情報建築物データ	
14	航空管制用レーダー施設	
15	航空自衛隊レーダーサイト	
16	航空保安無線施設	

表 5.7-10 事業計画認定情報 (FIT 認定設備の概略位置) 搭載データ

番号	搭載レイヤ	搭載手法
1	バイオマス発電	EADAS 連携

(3) ポテンシャル情報

ポテンシャル情報は、促進区域検討支援ツールで対象箇所のポテンシャル情報等を取得する。REPOS に搭載するために次の設計を行った。

1) 搭載データの設計

促進区域検討支援ツールに表示するポテンシャル情報は位置情報を持つデータであることから、地図上に表示することとし、テーブル等の設計を行った。設計を行ったデータの一例を表 5.7-11 に示す。

表 5.7-11 設計対象データ

対象エネルギー種別	対象データ
太陽光 (建物系)	導入ポテンシャル (メッシュデータ)
	建物情報 (ポリゴンデータ)
太陽光 (土地系)	導入ポテンシャル (メッシュデータ)
	農地-筆ポリゴン (ポリゴンデータ)
	ため池 (ポイントデータ)
	遊休農地 (ポイントデータ)
陸上風力	R3 風況マップ-地上高 90m (メッシュデータ)
	H26 風況マップ-地上高 80m (メッシュデータ)
	賦存量 (メッシュデータ)
	導入ポテンシャル (メッシュデータ)

2) ユーザーインターフェースの設計

表 5.7-11 に示したデータを GIS 上に表示し、ポテンシャル情報を取得するためにユーザーインターフェースの設計を行った。結果を図 5.7-1～図 5.7-3 に示した。

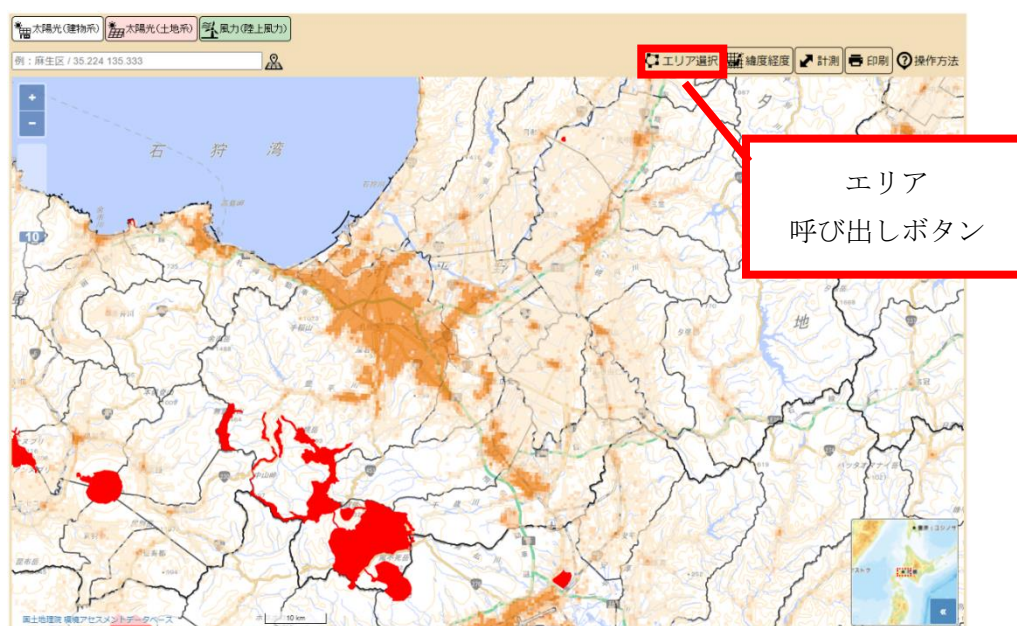


図 5.7-1 エリア選択機能のユーザーインターフェースの設計 1

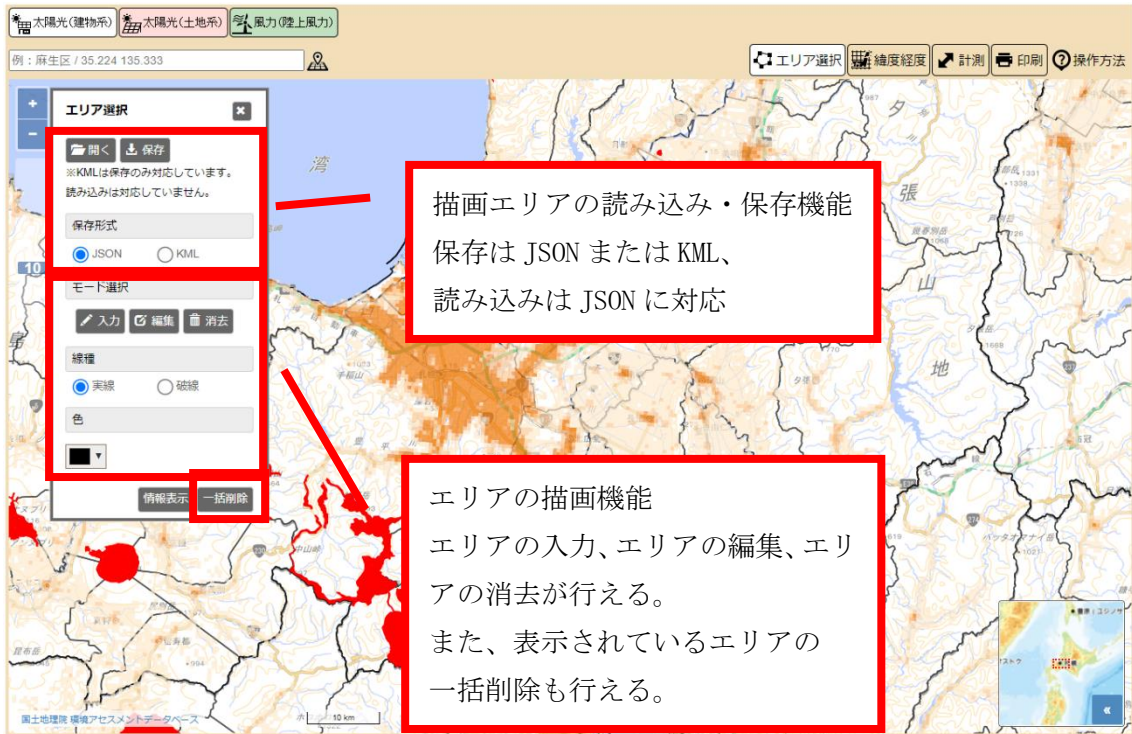


図 5.7-2 エリア選択機能のユーザーインターフェースの設計 2

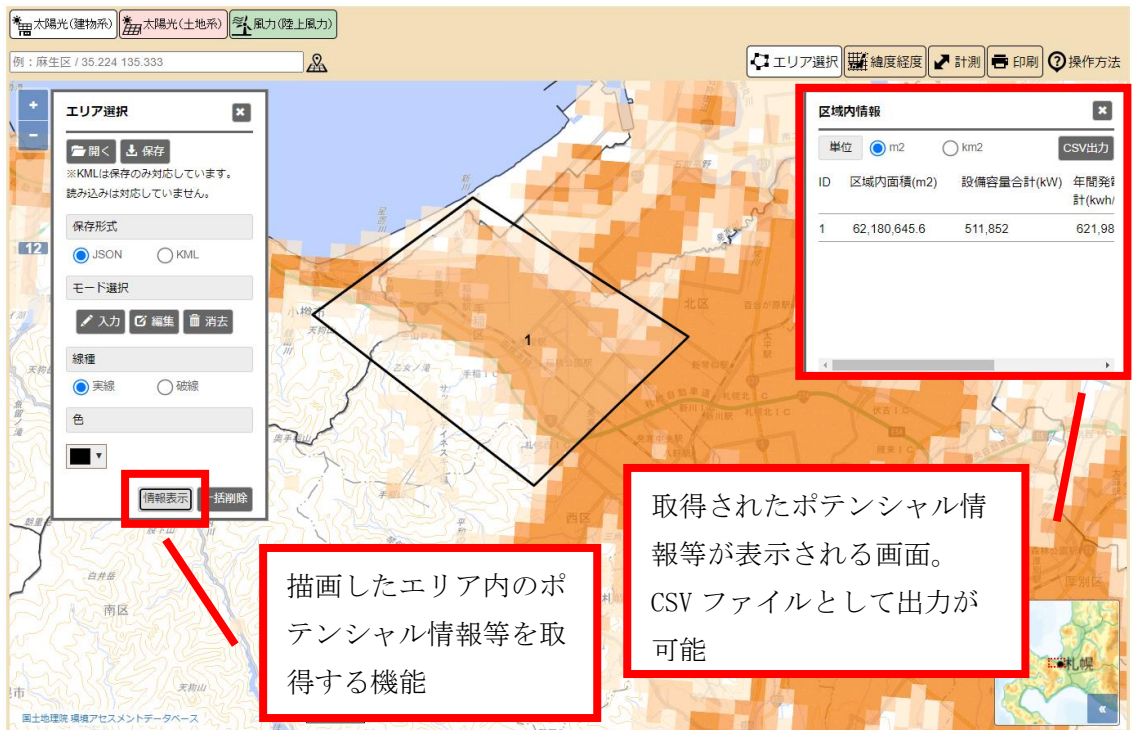


図 5.7-3 エリア選択機能のユーザーインターフェースの設計 3

3) 機能設計

ポテンシャル情報の取得機能は、以下の動作を行う。

- ・ [エリア選択] ボタンをクリックすると、エリア選択モードに切り替わる
- ・ エリア選択モードでモード選択[入力]を選択すると、マウスカーソルが青ポインターに変わり、地図画面上に図形を描画できる。
 - 地図画面上をクリックすると頂点が指定され、3点以上の図形を描画できる。
 - 2点以上頂点が指定されている状況で図形を閉じたい箇所でダブルクリックするか、3点以上頂点が指定されている状況で、始点にマウスカーソルを合わせてクリックすると、確定した図形が描画される。
- ・ エリア選択モードでモード選択[編集]を選択すると、画面上の図形を選択することができる。
 - 選択したい図形上でダブルクリックすると、図形の全頂点が表示される。
 - 図形にマウスカーソルを合わせると、青ポインターが表示され、頂点にスナップされる。その状態で頂点をドラッグすると、頂点位置を移動することができる。
 - 図形の辺上にマウスカーソルを合わせると青ポインターが表示され、クリックすると頂点が追加される。
 - 頂点にマウスカーソルを合わせ、青ポインターが表示されている状態で、Alt キーを押下しながら頂点をクリックすると、頂点が削除される。
- ・ エリア選択モードでモード選択[消去]を選択すると、画面上の図形を消去することができる。
 - 選択したい図形上でクリックすると、図形が消去される。
- ・ 線種モードで選択された線種で図形が描画される。
- ・ 色モードで選択した色で図形が描画される。
- ・ 一括削除ボタンを選択すると、描画している全ての図形が削除される。
- ・ 情報表示ボタンを選択すると、ポテンシャル情報等が取得され、区域内情報のダイアログが表示される。区域内面積、設備容量合計、年間発電電力量合計等の情報が区域内情報のダイアログに表示される。その他詳細な取得情報は CSV ファイルとして出力できる。
 - 図形と重なっている各種レイヤ情報からデータを取得する。メッシュデータの場合はメッシュの中心、ポリゴンデータの場合はポリゴンの重心、ポイントデータはポイント自体が図形に含まれている場合は、取得対象データとし属性情報を取得する。メッシュデータとポリゴンデータの取得イメージを
 -
 -

- 図 5.7-4 に示す。
- 推計除外条件（一律に除外すべき区域、考慮が必要な区域、その他の留意が必要な施設・エリア等）のレイヤは、図形と重なっている場合に、重なり判定を有/無で CSV ファイルに出力する。

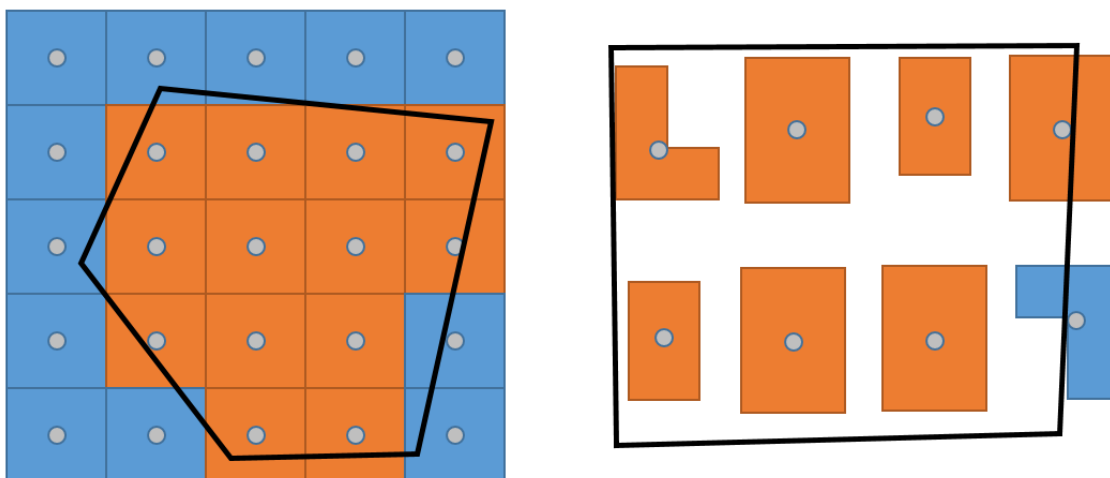


図 5.7-4 メッシュデータ・ポリゴンデータの取得イメージ

・ CSV ファイルに出力される項目について、表 5.7-12～表 5.7-15 に示す。

表 5.7-12 太陽光（建物系）出力項目

太陽光（建物系）出力項目
建物情報[官公庁]面積(m2)
建物情報[官公庁]面積(km2)
建物情報[官公庁]設備容量合計(kW)
建物情報[官公庁]設備容量合計(千 kW)
建物情報[官公庁]年間電力発電量合計(kWh/年)
建物情報[官公庁]年間電力発電量合計(MWh/年)
建物情報[病院]面積(m2)
建物情報[病院]面積(km2)
建物情報[病院]設備容量合計(kW)
建物情報[病院]設備容量合計(千 kW)
建物情報[病院]年間電力発電量合計(kWh/年)
建物情報[病院]年間電力発電量合計(MWh/年)
建物情報[学校]面積(m2)
建物情報[学校]面積(km2)
建物情報[学校]設備容量合計(kW)
建物情報[学校]設備容量合計(千 kW)
建物情報[学校]年間電力発電量合計(kWh/年)
建物情報[学校]年間電力発電量合計(MWh/年)
建物情報[戸建住宅等]面積(m2)
建物情報[戸建住宅等]面積(km2)
建物情報[戸建住宅等]設備容量合計(kW)
建物情報[戸建住宅等]設備容量合計(千 kW)
建物情報[戸建住宅等]年間電力発電量合計(kWh/年)
建物情報[戸建住宅等]年間電力発電量合計(MWh/年)
建物情報[集合住宅]面積(m2)

太陽光（建物系）出力項目
建物情報[集合住宅]面積(km2)
建物情報[集合住宅]設備容量合計(kW)
建物情報[集合住宅]設備容量合計(千kW)
建物情報[集合住宅]年間電力発電量合計(kWh/年)
建物情報[集合住宅]年間電力発電量合計(MWh/年)
建物情報[工事・倉庫]面積(m2)
建物情報[工事・倉庫]面積(km2)
建物情報[工事・倉庫]設備容量合計(kW)
建物情報[工事・倉庫]設備容量合計(千kW)
建物情報[工事・倉庫]年間電力発電量合計(kWh/年)
建物情報[工事・倉庫]年間電力発電量合計(MWh/年)
建物情報[その他建物]面積(m2)
建物情報[その他建物]面積(km2)
建物情報[その他建物]設備容量合計(kW)
建物情報[その他建物]設備容量合計(千kW)
建物情報[その他建物]年間電力発電量合計(kWh/年)
建物情報[その他建物]年間電力発電量合計(MWh/年)
建物情報[鉄道駅]面積(m2)
建物情報[鉄道駅]面積(km2)
建物情報[鉄道駅]設備容量合計(kW)
建物情報[鉄道駅]設備容量合計(千kW)
建物情報[鉄道駅]年間電力発電量合計(kWh/年)
建物情報[鉄道駅]年間電力発電量合計(MWh/年)
建物情報[カテゴリ合計]面積(m2)
建物情報[カテゴリ合計]面積(km2)
建物情報[カテゴリ合計]設備容量合計(kW)
建物情報[カテゴリ合計]設備容量合計(千kW)
建物情報[カテゴリ合計]年間電力発電量合計(kWh/年)
建物情報[カテゴリ合計]年間電力発電量合計(MWh/年)
導入ポテンシャル[官公庁]設備容量合計(kW)
導入ポテンシャル[官公庁]設備容量合計(千kW)
導入ポテンシャル[官公庁]年間発電電力量合計(kWh/年)
導入ポテンシャル[官公庁]年間発電電力量合計(MWh/年)
導入ポテンシャル[病院]設備容量合計(kW)
導入ポテンシャル[病院]設備容量合計(千kW)
導入ポテンシャル[病院]年間発電電力量合計(kWh/年)
導入ポテンシャル[病院]年間発電電力量合計(MWh/年)
導入ポテンシャル[学校]設備容量合計(kW)
導入ポテンシャル[学校]設備容量合計(千kW)
導入ポテンシャル[学校]年間発電電力量合計(kWh/年)
導入ポテンシャル[学校]年間発電電力量合計(MWh/年)
導入ポテンシャル[戸建住宅等]設備容量合計(kW)
導入ポテンシャル[戸建住宅等]設備容量合計(千kW)
導入ポテンシャル[戸建住宅等]年間発電電力量合計(kWh/年)
導入ポテンシャル[戸建住宅等]年間発電電力量合計(MWh/年)
導入ポテンシャル[集合住宅]設備容量合計(kW)

太陽光（建物系）出力項目
導入ポテンシャル[集合住宅]設備容量合計(千 kW)
導入ポテンシャル[集合住宅]年間発電電力量合計(kWh/年)
導入ポテンシャル[集合住宅]年間発電電力量合計(MWh/年)
導入ポテンシャル[工場・倉庫]設備容量合計(kW)
導入ポテンシャル[工場・倉庫]設備容量合計(千 kW)
導入ポテンシャル[工場・倉庫]年間発電電力量合計(kWh/年)
導入ポテンシャル[工場・倉庫]年間発電電力量合計(MWh/年)
導入ポテンシャル[その他建物]設備容量合計(kW)
導入ポテンシャル[その他建物]設備容量合計(千 kW)
導入ポテンシャル[その他建物]年間発電電力量合計(kWh/年)
導入ポテンシャル[その他建物]年間発電電力量合計(MWh/年)
導入ポテンシャル[鉄道駅]設備容量合計(kW)
導入ポテンシャル[鉄道駅]設備容量合計(千 kW)
導入ポテンシャル[鉄道駅]年間発電電力量合計(kWh/年)
導入ポテンシャル[鉄道駅]年間発電電力量合計(MWh/年)
導入ポテンシャル[カテゴリ合計]設備容量合計(kW)
導入ポテンシャル[カテゴリ合計]設備容量合計(千 kW)
導入ポテンシャル[カテゴリ合計]年間発電電力量合計(kWh/年)
導入ポテンシャル[カテゴリ合計]年間発電電力量合計(MWh/年)

表 5.7-13 太陽光（土地系）出力項目

太陽光（土地系）出力項目
農地面積(m2)
農地面積(km2)
農地設備容量合計(kW)
農地設備容量合計(千 kW)
農地年間電力発電量(kWh/年)
農地年間電力発電量(MWh/年)
遊休農地面積(m2)
遊休農地面積(km2)
ため池面積(m2)
ため池面積(km2)
ため池設備容量合計(kW)
ため池設備容量合計(千 kW)
ため池年間電力発電量(kWh/年)
ため池年間電力発電量(MWh/年)
導入ポテンシャル[農地/耕地/田]設備容量合計(kW)
導入ポテンシャル[農地/耕地/田]設備容量合計(千 kW)
導入ポテンシャル[農地/耕地/田]年間発電電力量合計(kWh/年)
導入ポテンシャル[農地/耕地/田]年間発電電力量合計(MWh/年)
導入ポテンシャル[農地/耕地/畑]設備容量合計(kW)
導入ポテンシャル[農地/耕地/畑]設備容量合計(千 kW)
導入ポテンシャル[農地/耕地/畑]年間発電電力量合計(kWh/年)
導入ポテンシャル[農地/耕地/畑]年間発電電力量合計(MWh/年)
導入ポテンシャル[水上/ため池]設備容量合計(kW)

太陽光（土地系）出力項目
導入ポテンシャル[水上/ため池]設備容量合計(千 kW)
導入ポテンシャル[水上/ため池]年間発電電力量合計(kWh/年)
導入ポテンシャル[水上/ため池]年間発電電力量合計(MWh/年)
導入ポテンシャル[カテゴリ合計]設備容量合計(kW)
導入ポテンシャル[カテゴリ合計]設備容量合計(千 kW)
導入ポテンシャル[カテゴリ合計]年間発電電力量合計(kWh/年)
導入ポテンシャル[カテゴリ合計]年間発電電力量合計(MWh/年)

表 5.7-14 陸上風力 出力項目

陸上風力 出力項目
H26 風況マップ（地上高 80m）平均風速(m/s)
R3 風況マップ（地上高 90m）平均風速(m/s)
賦存量平均風速(m/s)
賦存量設備容量合計(kW)
賦存量設備容量合計(千 kW)
賦存量年間発電電力量合計(kWh/年)
賦存量年間発電電力量合計(MWh/年)
導入ポテンシャル平均風速(m/s)
導入ポテンシャル設備容量合計(kW)
導入ポテンシャル設備容量合計(千 kW)
導入ポテンシャル年間発電電力量合計(kWh/年)
導入ポテンシャル年間発電電力量合計(MWh/年)

表 5.7-15 共通 出力項目

共通 出力項目
ID
区域内面積(m2)
区域内面積(km2)
一律に除外すべき区域：自然公園区域（国立公園）[特別保護地区、第1種特別地域]
一律に除外すべき区域：自然公園区域（国定公園）[特別保護地区、第1種特別地域]
一律に除外すべき区域：原生自然環境保全地域
一律に除外すべき区域：自然環境保全地域
一律に除外すべき区域：自然環境保全地域（野生動植物保護地区）
一律に除外すべき区域：鳥獣保護区（国指定）[特別保護地区]
考慮が必要な区域：自然公園区域（国立公園）[第2種特別地域～普通地域]
考慮が必要な区域：自然公園区域（国定公園）[第2種特別地域～普通地域]
考慮が必要な区域：砂防指定地
考慮が必要な区域：地すべり防止区域
考慮が必要な区域：急傾斜地崩壊危険区域
考慮が必要な区域：保安林（国有林）
考慮が必要な区域：保安林（民有林）
考慮が必要な区域：保安林（国有林・民有林）
その他の留意が必要な施設・エリア等：都道府県立自然公園[第1種特別区域～普通地域]
その他の留意が必要な施設・エリア等：鳥獣保護区（都道府県指定）[特別保護地区]
その他の留意が必要な施設・エリア等：都道府県自然環境保全地域
その他の留意が必要な施設・エリア等：都道府県自然環境保全地域（野生動植物保護地区）
その他の留意が必要な施設・エリア等：世界自然遺産地域
その他の留意が必要な施設・エリア等：土砂災害特別警戒区域

共通 出力項目
その他の留意が必要な施設・エリア等：土砂警戒区域
その他の留意が必要な施設・エリア等：土砂災害危険箇所
その他の留意が必要な施設・エリア等：地すべり危険地区（国有林）
その他の留意が必要な施設・エリア等：山腹崩壊危険地区（国有林）
その他の留意が必要な施設・エリア等：崩壊土砂流出危険地区（国有林）
その他の留意が必要な施設・エリア等：地すべり危険地区（民有林）
その他の留意が必要な施設・エリア等：山腹崩壊危険地区（民有林）
その他の留意が必要な施設・エリア等：崩壊土砂流出危険地区（民有林）
その他の留意が必要な施設・エリア等：浸水想定区域（洪水）（国管理河川）浸水深 6 区分
その他の留意が必要な施設・エリア等：浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深 5 区分
その他の留意が必要な施設・エリア等：浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深 6 区分
その他の留意が必要な施設・エリア等：浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深 7 区分
その他の留意が必要な施設・エリア等：浸水想定区域（津波）

（４） ポテンシャル推計基礎情報/資源量に関する基礎情報/推計除外条件データ

ポテンシャル推計基礎情報/資源量に関する基礎情報/推計除外条件データは、GIS データ（実データ）を各画面の GIS にレイヤとして搭載できるよう、データ設計を行った。搭載したデータを表 5.7-16～表 5.7-18 に示した。

表 5.7-16 ポテンシャル推計基礎情報 搭載データ

番号	搭載レイヤ	搭載手法
1	建物情報	GIS データ搭載
2	農地	
3	ため池	
4	地域別発電量係数	
5	地域別日射量情報	

表 5.7-17 資源量に関する基礎情報 搭載データ

番号	搭載レイヤ	搭載手法
1	H26 風況マップ（地上高 80m）	GIS データ搭載
2	R3 風況マップ（地上高 90m）	
3	熱需要マップ	
4	採熱率マップ	

表 5.7-18 推計除外条件データ 搭載データ

番号	搭載レイヤ	搭載手法
1	最大傾斜角 (20 度以上)	GIS データ搭載
2	地上開度 (75° 未満)	
3	標高 (1,200m 以上)	
4	離岸距離 (陸地から 30km)	
5	水深 (200m 以上)	
6	土地利用	
7	自然公園区域 (国立公園)	
8	自然公園区域 (国定公園)	
9	都道府県立自然公園	
10	原生自然環境保全地域	
11	自然環境保全地域 (国指定)	
12	自然環境保全地域 (都道府県指定)	
13	鳥獣保護区 (国指定)	
14	鳥獣保護区 (都道府県指定)	
15	世界自然遺産	
16	保安林 (国有林)	
17	保安林 (民有林)	
18	保安林 (国有林・民有林)	
19	市街化区域	
20	砂防指定地	
21	地すべり防止区域	
22	急傾斜地崩壊危険区域	
23	土砂災害特別警戒区域	
24	土砂災害警戒区域	
25	土砂災害危険箇所	
26	山地災害危険地区 (民有林)	
27	浸水想定区域 (洪水) (国管理河川) 浸水深 6 区分	
28	浸水想定区域 (洪水) (都道府県管理河川) _収録状況	
29	浸水想定区域 (洪水) (都道府県管理河川) 浸水深 5 区分	
30	浸水想定区域 (洪水) (都道府県管理河川) 浸水深 6 区分	
31	浸水想定区域 (洪水) (都道府県管理河川) 浸水深 7 区分	
32	浸水想定区域 (津波)	
33	浸水想定区域 (津波) _収録状況	
34	浸水想定区域 (洪水) 浸水深 1.0m 以上	
35	居住地からの距離 (100m 未満)	

(5) 中小水力 FIP 情報

中小水力 FIP 情報は、対象箇所 の FIP 情報を取得する。REPOS に搭載するために次の設計を行った。

1) 搭載データの設計

中小水力 FIP 情報は位置情報を持つデータであることから、地図上に表示することとし、表 5.7-19 に示すテーブルの設計を行った。また、データ取得用に表 5.7-20 に示すテーブル設計を行った。

表 5.7-19 中小水力 FIP 情報 GIS データのテーブル設計

フィールド名	データ型	データ概要
objectid	serial	id
name	character varying	観測所名
lat	double	緯度
lon	double	経度
wkb_geometry	geometry	図形

表 5.7-20 中小水力 FIP 情報のテーブル設計

フィールド名	データ型	データ概要
name	character varying	観測所名
year	integer	年
month	integer	月
electricity_avg	double	売電平均価格
market_avg	double	市場平均価格
price_deviation	double	価格偏差
lat	double	緯度
lon	double	経度

2) ユーザーインターフェースの設計

表 5.7-20 に示したデータを GIS 上に表示するため、ユーザーインターフェースの設計を行った。結果を図 5.7-5 に示した。

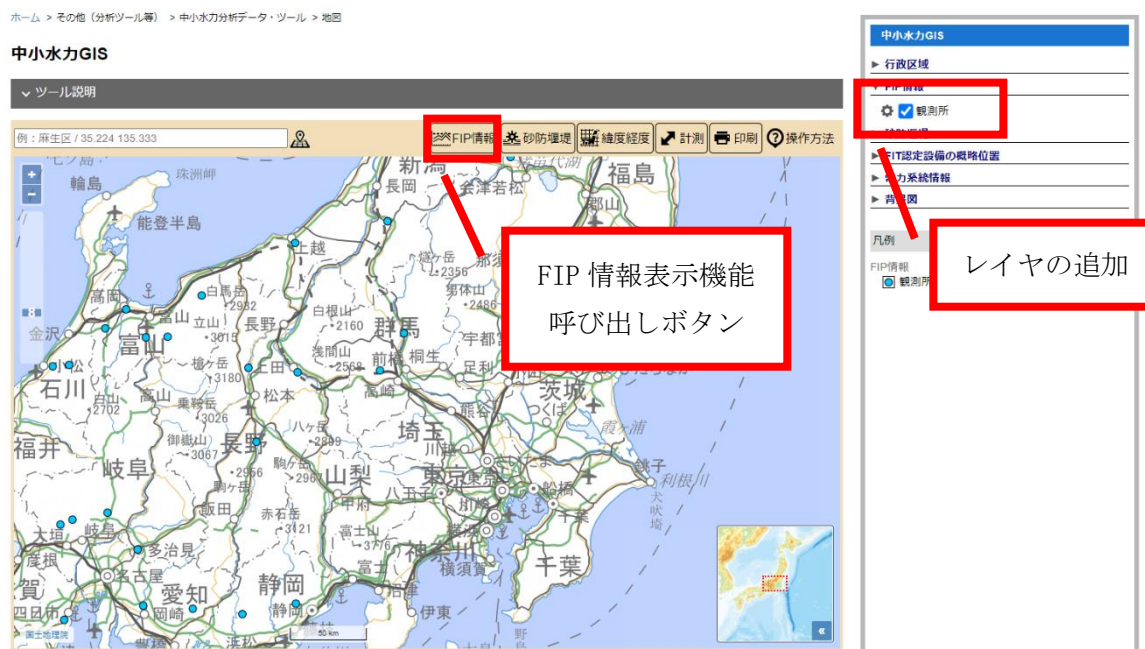


図 5.7-5 中小水力 FIP 情報表示機能のユーザーインターフェースの設計

3) 機能設計

中小水力 FIP 情報の表示機能は、以下の動作を行う。

- [FIP 情報] ボタンをクリックすると、中小水力 FIP 情報表示モードに切り替わる
- 中小水力 FIP 情報表示モードで画面をクリックすると、クリック位置の中小水力 FIP 情報 (図 5.7-5 の茶色の●) を検索する。
- 検索結果がなければ、「該当データがありません」のメッセージを表示する。
- 検索結果が 1 件であれば、該当するデータを図 5.7-6 の画面に表示する。
- 対象箇所 の年別情報が選択できるため、ユーザーが確認したいデータを画面から選択すると、対象年の月別表示画面に遷移する。

流量観測所検索結果		
観測所 年度	売電平均価格 市場平均価格	価格偏差
寺家橋観測所 2017	9.28 9.30	0.03
寺家橋観測所 2018	10.02 10.21	0.18
寺家橋観測所 2019	7.29 7.39	0.10

図 5.7-6 FIP 情報ポップアップ画面

寺家橋観測所 2017年度月別結果			
月	売電平均価格	市場平均価格	価格偏差
4	8.07	8.06	-0.01
5	7.14	7.22	0.09
6	7.48	7.50	0.01
7	9.91	10.15	0.24
8	9.81	9.69	-0.12
9	7.53	7.44	-0.08
10	7.87	8.08	0.21
11	9.46	9.46	0.01
12	13.14	13.01	-0.13
1	9.62	9.80	0.18
2	10.58	10.56	-0.02
3	10.75	10.67	-0.08

中小水力 FIP情報
 ✕ 閉じる

図 5.7-7 FIP 情報月別データ表示画面

5.7.2 システムの調整

前項の設計を踏まえ、各項目に対して以下に示す調整を行った。

(1) 自治体別情報

表 5.7-2～表 5.7-8 に示した内容でシステムのデータベースにデータを投入できるように、CSV 形式で各データの整理を行った。

(2) ゾーニング関連情報/事業計画認定情報 (FIT 認定設備の概略位置)

表 5.7-9、表 5.7-10 に示したレイヤを、全 GIS データ画面の GIS に搭載するため、レイヤ構成を管理している設定ファイル (json 形式) を更新した。更新対象のファイルを表 5.7-21 に示した。

表 5.7-21 レイヤ構成更新対象

番号	ファイル名	設定ファイルが管理する概要
1	menu_all.json	全 GIS データ画面の凡例メニュー項目を管理
2	layer_all.json	全 GIS データ画面の各レイヤの詳細を管理

(3) ポテンシャル情報

1) データ搭載のための調整

表 5.7-11 に示したテーブルをデータベースに追加し、ポテンシャル情報データを追加した。追加は、ファイルジオデータベース形式を PostGIS に変換するツールを作成し、実施した。

2) ユーザーインターフェースと機能調整

設計したユーザーインターフェースと機能を実現するため、表 5.7-22 に示したファイルを調整した。

表 5.7-22 更新対象ファイル

番号	ファイル名
1	web/api/codeigniter/application/config/config.php
2	web/api/codeigniter/application/config/routes.php
3	web/api/codeigniter/application/controllers/api/v01/map/GetPromotionInfo.php
4	web/api/codeigniter/application/models/map/search/Area_search_model.php
5	web/css/style_aas.css
6	web/js/app_promotion.js
7	web/js/views/AreaDrawSquareDlg.js
8	web/js/views/AreaInfoDlg.js
9	web/js/views/AreaInfoDlgView.js
10	web/js/views/PromotionMap.js
11	Web/gis_promotion.html
12	Web/report_fip.html

(4) ポテンシャル推計基礎情報/資源量に関する基礎情報/推計除外条件データ

表 5.7-16～表 5.7-18 に示したレイヤを、促進区域検討支援ツール画面、再生可能エネルギー導入ポテンシャルメニュー画面、全 GIS データ画面の GIS に搭載するため、レイヤ構成を管理している設定ファイル(json 形式)を更新した。更新対象のファイルを表 5.7-21 に示した。

また、各データの追加は、ファイルジオデータベース形式を PostGIS に変換するツールを作成し、実施した。

表 5.7-23 レイヤ構成更新対象

番号	ファイル名	設定ファイルが管理する概要
1	menus_promotion_sunlight_building.json	太陽光(建物系)の凡例メニュー項目を管理
2	menus_promotion_sunlight_land.json	太陽光(土地系)の凡例メニュー項目を管理
3	menus_promotion_wind_land.json	陸上風力の凡例メニュー項目を管理
4	menus_sunlight.json	太陽光の凡例メニュー項目を管理
5	menus_wind.json	風力の凡例メニュー項目を管理
6	menus_water.json	中小水力の凡例メニュー項目を管理
7	menus_geo.json	地熱の凡例メニュー項目を管理
8	menu_all.json	全 GIS データ画面の凡例メニュー項目を管理
9	layer_promotion_sunlight_building.json	太陽光(建物系)の各レイヤの詳細を管理
10	layer_promotion_sunlight_land.json	太陽光(土地系)の各レイヤの詳細を管理
11	layer_promotion_wind_land.json	陸上風力の各レイヤの詳細を管理
12	layer_sunlight.json	太陽光の各レイヤの詳細を管理
13	layer_wind.json	風力の各レイヤの詳細を管理
14	layer_water.json	中小水力の各レイヤの詳細を管理
15	layer_geo.json	地熱の各レイヤの詳細を管理
16	layer_all.json	全 GIS データ画面の各レイヤの詳細を管理

(5) 中小水力 FIP 情報

1) データ搭載のための調整

表 5.7-20 に示したテーブルをデータベースに追加し、砂防ダム調査データを追加した。追加は、ファイルジオデータベース形式を PostGIS に変換するツールを作成し、実施した。

2) ユーザーインターフェースと機能調整

設計したユーザーインターフェースと機能を実現するため、表 5.7-22 に示したファイルを調整した。

表 5.7-24 更新対象ファイル

番号	ファイル名
1	web/api/codeigniter/application/config/config.php
2	web/api/codeigniter/application/config/routes.php
3	web/api/codeigniter/application/controllers/api/v01/map/FipData.php
4	web/api/codeigniter/application/models/map/FipData_model.php
5	web/css/style_aas.css
6	web/js/app_fip.js
7	web/js/report_fip.js
8	web/js/views/FipDlg.js

番号	ファイル名
9	web/js/views/FipDlgView.js
10	web/js/views/FipMainPage.js
11	web/js/views/FipMap.js
12	Web/gis_fip.html
13	Web/report_fip.html

5.7.3 調整結果のテスト

前項の調整結果を踏まえ、各項目に対してテストを行った。各テストは、合格するまで実施した。以下に実施したテストの例を示す。

(1) 自治体別情報

1) テストの視点

- ・自治体再エネ情報カルテ（エクセルファイル）が正しくダウンロードできるか
- ・自治体再エネ情報カルテのシートに DB から正しく値が挿入されているか
- ・目標設定支援ツールが正しくダウンロードできるか
- ・目標設定支援ツールのシートに DB から正しく値が挿入されているか

2) テスト項目

テスト項目と結果を表 5.7-25 に示す。

表 5.7-25 自治体別情報 テスト項目

番号	テスト内容	期待値	備考
1	自治体再エネ情報カルテの概要版ページのダウンロードリンク「自治体再エネ情報カルテ」をクリックする	ファイル名：自治体再エネ情報カルテ_{選択した自治体}.xlsx をダウンロードできることを確認する。2 シート目の概要版の出力内容と自治体カルテ画面が一致していること	
2	自治体再エネ情報カルテのエクセルを開く	出力対象の項目について、DB から値が挿入されている。	
3	地域脱炭素化支援ツールで任意の自治体を選択	ファイル名：再エネ目標設定支援ツール_{選択した自治体名}.xlsx がダウンロードできることを確認する。	
4	自治体再エネ情報カルテのエクセルを開く	基本情報に選択した自治体情報（都道府県コード、都道府県名等、市町村コード、市町村名）が出力されていること	
5	自治体再エネ情報カルテのエクセルを開く	出力対象の項目について、DB から値が挿入されている。	

(2) ゾーニング関連情報/事業計画認定情報（FIT 認定設備の概略位置）

1) テストの視点

- ・地図画面に想定したレイヤが搭載されているか
- ・各レイヤ（凡例を含む）が正しく表示されるか
- ・各レイヤに対する透過度などの設定や On/Off の動作が正しく行われるか

2) テスト項目

テスト項目と結果を表 5.7-26 に示す。

表 5.7-26 ゾーニング関連情報/事業計画認定情報 テスト項目

番号	テスト内容	期待値	備考
1	各地図画面(※1)のGISシステムに、生息地等保護区が搭載されていること	生息地等保護区が、凡例一覧にある。	
2	搭載データ(GIS)のGISシステムに、保安林(国有林・民有林)が搭載されていること	保安林(国有林・民有林)が、凡例一覧にある。	
3	搭載データ(GIS)のGISシステムに、森林地域(土地利用基本計画)が搭載されていること	森林地域(土地利用基本計画)が、凡例一覧にある。	
4	搭載データ(GIS)のGISシステムに、国有林が搭載されていること	国有林が、凡例一覧にある。	
5	各地図画面(※1)のGISシステムに、都市計画用途地域が搭載されていること	都市計画用途地域が、凡例一覧にある。	
6	各地図画面(※1)のGISシステムに、道路(道路分類)が搭載されていること	道路(道路分類)が、凡例一覧にある。	
7	各地図画面(※1)のGISシステムに、道路(幅員区分)が搭載されていること	道路(幅員区分)が、凡例一覧にある。	
8	搭載データ(GIS)のGISシステムに、山地災害危険地区(国有林)が搭載されていること	山地災害危険地区(国有林)が、凡例一覧にある。	
9	各地図画面(※1)のGISシステムに、学校が搭載されていること	学校が、凡例一覧にある。	
10	各地図画面(※1)のGISシステムに、病院、診療所が搭載されていること	病院、診療所が、凡例一覧にある。	
11	各地図画面(※1)のGISシステムに、福祉施設が搭載されていること	福祉施設が、凡例一覧にある。	
12	各地図画面(※1)のGISシステムに、図書館が搭載されていること	図書館が、凡例一覧にある。	
13	各地図画面(※1)のGISシステムに、基盤地図情報建築物データが搭載されていること	基盤地図情報建築物データが、凡例一覧にある。	
14	搭載データ(GIS)のGISシステムに、航空管制用レーダー施設が搭載されていること	航空管制用レーダー施設が、凡例一覧にある。	
15	搭載データ(GIS)のGISシステムに、航空自衛隊レーダーサイトが搭載されていること	航空自衛隊レーダーサイトが、凡例一覧にある。	
16	搭載データ(GIS)のGISシステムに、航空保安無線施設が搭載されていること	航空保安無線施設が、凡例一覧にある。	
17	各地図画面(※1)のGISシステムで、番号1～16で表示したレイヤのOn/Offができること。	チェック On:レイヤ表示 チェック Off:レイヤ非表示	
18	各地図画面(※1)のGISシステムで、番号1～16で表示したレイヤの凡例画像が表示されること。	各レイヤの凡例画像が表示される	
19	各地図画面(※1)のGISシステムで、番号1～16で表示したレイヤの機能ボタンの押下で、凡例ダイアログが表示されること。	各レイヤに、凡例ダイアログが表示される	
20	番号19で表示したダイアログの透過度の設定が、レイヤに適用されること	透過度に従いレイヤが透過(不透過)状態になる	

※1: 促進区域検討支援ツールの対象地図画面、搭載データ(GIS)

(3) ポテンシャル情報

1) テストの視点

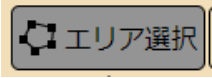
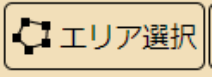
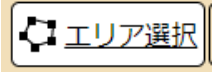
- ・地図画面に想定したレイヤが搭載されているか
- ・各レイヤ（凡例を含む）が正しく表示されるか
- ・各レイヤに対する透過度などの設定や On/Off の動作が正しく行われるか
- ・エリア選択機能の描画機能は正しく動作しているか
- ・エリア選択機能が動作し、情報取得が行われ、ポップアップが表示されるか
- ・情報取得後の CSV ファイルのダウンロードは正しく行われるか

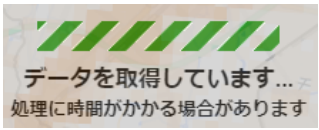


2) テスト項目

テスト項目と結果を表 5.7-27 に示す。

表 5.7-27 テスト項目と結果

番号	テスト内容	期待値	備考
1	太陽光（建物系）（※1）の GIS システムに、導入ポテンシャル（メッシュデータ）が搭載されていること	導入ポテンシャル（メッシュデータ）が、凡例一覧にある。	
2	太陽光（建物系）（※1）の GIS システムに、建物情報（ポリゴンデータ）が搭載されていること	建物情報（ポリゴンデータ）が、凡例一覧にある。	
3	太陽光（土地系）（※1）の GIS システムに、導入ポテンシャル（メッシュデータ）が搭載されていること	導入ポテンシャル（メッシュデータ）が、凡例一覧にある。	
4	太陽光（土地系）（※1）の GIS システムに、農地（ポリゴンデータ）が搭載されていること	導入ポテンシャル農地（ポリゴンデータ）が、凡例一覧にある。	
5	太陽光（土地系）（※1）の GIS システムに、ため池（ポイントデータ）が搭載されていること	ため池（ポイントデータ）が、凡例一覧にある。	
6	太陽光（土地系）（※1）の GIS システムに、遊休農地（ポイントデータ）が搭載されていること	遊休農地（ポイントデータ）が、凡例一覧にある。	
7	陸上風力（※1）の GIS システムに、R3 風況マップ-地上高 90m（メッシュデータ）が搭載されていること	R3 風況マップ-地上高 90m（メッシュデータ）が、凡例一覧にある。	
8	陸上風力（※1）の GIS システムに、H26 風況マップ-地上高 80m（メッシュデータ）が搭載されていること	H26 風況マップ-地上高 80m（メッシュデータ）が、凡例一覧にある。	
9	陸上風力（※1）の GIS システムに、賦存量（メッシュデータ）が搭載されていること	賦存量（メッシュデータ）が、凡例一覧にある。	
10	陸上風力（※1）の GIS システムに、導入ポテンシャル（メッシュデータ）が搭載されていること	導入ポテンシャル（メッシュデータ）が、凡例一覧にある。	
11	各地図画面（※1）の GIS システムで、番号 1～10 で表示したレイヤの On/Off ができること。	チェック On：レイヤ表示 チェック Off：レイヤ非表示	

番号	テスト内容	期待値	備考
12	各地図画面（※1）の GIS システムで、番号 1～10 で表示したレイヤの凡例画像が表示されること。	各レイヤの凡例画像が表示される	
13	各地図画面（※1）の GIS システムで、番号 1～10 で表示したレイヤの機能ボタンの押下で、凡例ダイアログが表示されること。	各レイヤに、凡例ダイアログが表示される	
14	番号 13 で表示したダイアログの透過度の設定が、レイヤに適用されること	透過度に従いレイヤが透過（不透過）状態になる	
15	ズームレベル 10 未満の場合、[エリア選択] ボタンが非活性になっている		
16	ズームレベル 10 以上の場合、[エリア選択] ボタンが表示される		
17	[エリア選択] ボタンのクリックで、ボタン表示変化する		白抜き表示の時は「エリア選択」モード
18	[エリア選択] ボタンをクリックで、エリア選択ダイアログが表示される	地図画面上にエリア選択ダイアログが表示	
19	エリア選択ダイアログのモード選択「入力」モードで地図をクリックする	クリックした位置に頂点が作成され、図形を描画できる	
20	エリア選択ダイアログのモード選択「編集」モードで図形をクリックする	図形の頂点が表示され、カーソルを合わせると、移動させることができる	
21	エリア選択ダイアログのモード選択「編集」モードで図形をクリックする	図形の辺上にカーソルを合わせてクリックすると、頂点を追加することができる	
22	エリア選択ダイアログのモード選択「編集」モードで図形をクリックする	図形の頂点にカーソルを合わせて Alt キー+クリックすると、頂点を削除することができる	
23	エリア選択ダイアログのモード選択「消去」モードで図形をクリックする	図形をクリックすると、図形を削除することができる	
24	エリア選択ダイアログの保存形式を JSON に選択し、「保存」ボタンをクリックする	画面上に描画された図形を JSON 形式で保存できる	
25	エリア選択ダイアログの保存形式を KML に選択し、「保存」ボタンをクリックする	画面上に描画された図形を KML 形式で保存できる	
26	エリア選択ダイアログの「開く」ボタンをクリックする	JSON 形式のファイルを読み込み、画面上に図形が描画される	
27	エリア選択ダイアログの線種を「実線」に選択する	画面上に描画される図形が実線で表示される	
28	エリア選択ダイアログの線種を「破線」に選択する	画面上に描画される図形が破線で表示される	
29	エリア選択ダイアログの色を任意に選択する	画面上に描画される図形が選択された色の線で表示される	
30	エリア選択ダイアログの「一括削除」を選択する	描画した図形が全て削除される	
31	エリア選択ダイアログの「情報表示」を選択すると、画面上に図形が存在しない場合、「表示エリアに対象領域がありません」とメッセージが表示	メッセージの表示	

番号	テスト内容	期待値	備考
32	エリア選択ダイアログの「情報表示」を選択すると、画面上に図形が存在する場合、データ取得中画面になる		
33	32 で処理が終了するとダイアログが表示され、「ID、区域内面積、設備容量合計、年間発電電力量合計」等の情報が表示される		
34	33 で「単位」のラジオボタンを切り替えると、面積の単位を変更できる		
35	33 で「CSV 出力」 ボタンをクリックすると、CSV ファイルがダウンロードできる	ファイルのダウンロード	

※1：促進区域検討支援ツール

(4) ポテンシャル推計基礎情報/資源量に関する基礎情報/推計除外条件データ

1) テストの視点

- ・各エネルギー種の地図画面に想定したレイヤが搭載されているか
- ・各レイヤ（凡例を含む）が正しく表示されるか
- ・各レイヤに対する透過度などの設定や On/Off の動作が正しく行われるか

2) テスト項目

テスト項目と結果を表 5.7-28 に示す。

表 5.7-28 ポテンシャル推計基礎情報/資源量に関する基礎情報
/推計除外条件データ テスト項目

番号	テスト内容	期待値	備考
1	各地図画面(※1)のGISシステムに、建物情報が搭載されていること	建物情報が、凡例一覧にある。	
2	各地図画面(※1)のGISシステムに、農地が搭載されていること	農地が、凡例一覧にある。	
3	各地図画面(※1)のGISシステムに、ため池が搭載されていること	ため池が、凡例一覧にある。	
4	搭載データ(GIS)のGISシステムに、地域別発電量係数が搭載されていること	地域別発電量係数が、凡例一覧にある。	
5	搭載データ(GIS)のGISシステムに、地域別日射量情報が搭載されていること	地域別日射量情報が、凡例一覧にある。	
6	各地図画面(※1)のGISシステムに、H26風況マップ(地上高80m)が搭載されていること	H26風況マップ(地上高80m)が、凡例一覧にある。	
7	各地図画面(※1)のGISシステムに、R3風況マップ(地上高90m)が搭載されていること	R3風況マップ(地上高90m)が、凡例一覧にある。	
8	搭載データ(GIS)のGISシステムに、熱需要マップが搭載されていること	熱需要マップが、凡例一覧にある。	
9	搭載データ(GIS)のGISシステムに、採熱率マップが搭載されていること	採熱率マップが、凡例一覧にある。	
10	各地図画面(※1)のGISシステムに、最大傾斜角(20度以上)が搭載されていること	最大傾斜角(20度以上)が、凡例一覧にある。	
11	各地図画面(※1)のGISシステムに、地上開度(75度未満)が搭載されていること	地上開度(75度未満)が、凡例一覧にある。	
12	各地図画面(※1)のGISシステムに、標高(1,200m以上)が搭載されていること	標高(1,200m以上)が、凡例一覧にある。	
13	各地図画面(※1)のGISシステムに、離岸距離(陸地から30km)が搭載されていること	離岸距離(陸地から30km)が、凡例一覧にある。	
14	各地図画面(※1)のGISシステムに、水深(200m以上)が搭載されていること	水深(200m以上)が、凡例一覧にある。	
15	各地図画面(※1)のGISシステムに、土地利用が搭載されていること	土地利用が、凡例一覧にある。	
16	各地図画面(※1)のGISシステムに、自然公園区域(国立公園)が搭載されていること	自然公園区域(国立公園)が、凡例一覧にある。	
17	各地図画面(※1)のGISシステムに、自然公園区域(国定公園)が搭載されていること	自然公園区域(国定公園)が、凡例一覧にある。	
18	各地図画面(※1)のGISシステムに、都道府県立自然公園が搭載されていること	都道府県立自然公園が、凡例一覧にある。	
19	各地図画面(※1)のGISシステムに、原生自然	原生自然環境保全地域が、凡例	

番号	テスト内容	期待値	備考
	環境保全地域が搭載されていること	一覧にある。	
20	各地図画面(※1)のGISシステムに、自然環境保全地域(国指定)が搭載されていること	自然環境保全地域(国指定)が、凡例一覧にある。	
21	各地図画面(※1)のGISシステムに、自然環境保全地域(都道府県指定)が搭載されていること	自然環境保全地域(都道府県指定)が、凡例一覧にある。	
22	各地図画面(※1)のGISシステムに、鳥獣保護区(国指定)が搭載されていること	鳥獣保護区(国指定)が、凡例一覧にある。	
23	各地図画面(※1)のGISシステムに、鳥獣保護区(都道府県指定)が搭載されていること	鳥獣保護区(都道府県指定)が、凡例一覧にある。	
24	各地図画面(※1)のGISシステムに、世界自然遺産が搭載されていること	世界自然遺産が、凡例一覧にある。	
25	各地図画面(※1)のGISシステムに、保安林(国有林)が搭載されていること	保安林(国有林)が、凡例一覧にある。	
26	各地図画面(※1)のGISシステムに、保安林(民有林)が搭載されていること	保安林(民有林)が、凡例一覧にある。	
27	各地図画面(※1)のGISシステムに、保安林(国有林・民有林)が搭載されていること	保安林(国有林・民有林)が、凡例一覧にある。	
28	各地図画面(※1)のGISシステムに、市街化区域が搭載されていること	市街化区域が、凡例一覧にある。	
29	各地図画面(※1)のGISシステムに、砂防指定地が搭載されていること	砂防指定地が、凡例一覧にある。	
30	各地図画面(※1)のGISシステムに、地すべり防止区域が搭載されていること	地すべり防止区域が、凡例一覧にある。	
31	各地図画面(※1)のGISシステムに、急傾斜地崩壊危険区域が搭載されていること	急傾斜地崩壊危険区域が、凡例一覧にある。	
32	各地図画面(※1)のGISシステムに、土砂災害特別警戒区域が搭載されていること	土砂災害特別警戒区域が、凡例一覧にある。	
33	各地図画面(※1)のGISシステムに、土砂災害警戒区域が搭載されていること	土砂災害警戒区域が、凡例一覧にある。	
34	各地図画面(※1)のGISシステムに、土砂災害危険個所が搭載されていること	土砂災害危険個所が、凡例一覧にある。	
35	各地図画面(※1)のGISシステムに、山地災害危険地区(民有林)が搭載されていること	山地災害危険地区(民有林)が、凡例一覧にある。	
36	各地図画面(※1)のGISシステムに、浸水想定区域(洪水)(国管理河川)浸水深6区分が搭載されていること	浸水想定区域(洪水)(国管理河川)浸水深6区分が、凡例一覧にある。	
37	各地図画面(※1)のGISシステムに、浸水想定区域(洪水)(国管理河川)_収録状況が搭載されていること	浸水想定区域(洪水)(国管理河川)_収録状況が、凡例一覧にある。	
38	各地図画面(※1)のGISシステムに、浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深5区分が搭載されていること	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深5区分が、凡例一覧にある。	
39	各地図画面(※1)のGISシステムに、浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深6区分が搭載されていること	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深6区分が、凡例一覧にある。	
40	各地図画面(※1)のGISシステムに、浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深7区分が搭載されていること	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深7区分が、凡例一覧にある。	
41	各地図画面(※1)のGISシステムに、浸水想定区域(津波)が搭載されていること	浸水想定区域(津波)が、凡例一覧にある。	
42	各地図画面(※1)のGISシステムに、浸水想定	浸水想定区域(津波)_収録状況	

番号	テスト内容	期待値	備考
	区域（津波）_収録状況が搭載されていること	が、凡例一覧にある。	
43	各地図画面（※1）のGISシステムに、浸水想定区域（洪水）浸水深 1.0m 以上が搭載されていること	浸水想定区域（洪水）浸水深 1.0m 以上が、凡例一覧にある。	
44	各地図画面（※1）のGISシステムに、居住地からの距離（100m 未満）が搭載されていること	居住地からの距離（100m 未満）が、凡例一覧にある。	
45	各地図画面（※1）のGISシステムで、番号 1～44 で表示したレイヤの On/Off ができること。	チェック On：レイヤ表示 チェック Off：レイヤ非表示	
46	各地図画面（※1）のGISシステムで、番号 1～44 で表示したレイヤの凡例画像が表示されること。	各レイヤの凡例画像が表示される	
47	各地図画面（※1）のGISシステムで、番号 1～44 で表示したレイヤの機能ボタンの押下で、凡例ダイアログが表示されること。	各レイヤに、凡例ダイアログが表示される	
48	番号 47 で表示したダイアログの透過度の設定が、レイヤに適用されること	透過度に従いレイヤが透過（不透過）状態になる	

※1：促進区域検討支援ツールの対象地図画面、搭載データ（GIS）、「太陽光、風力、中小水力、地熱、地中熱、太陽熱」の対象地図画面

（５） 中小水力 FIP 情報

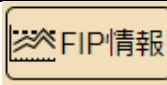
1) テストの視点


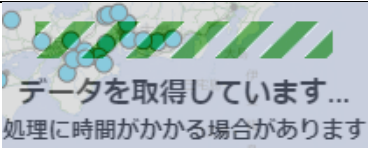
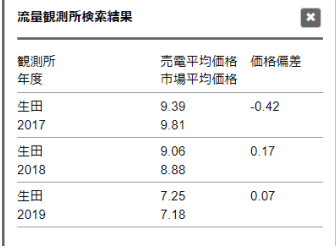
- ・ 中小水力の GIS に、FIP 情報の観測所のレイヤが搭載されているか
- ・ 観測所のレイヤが正しく表示されるか
- ・ FIP 情報機能が動作し、対象観測所の年別・月別情報が表示されるか

2) テスト項目

テスト項目と結果を表 5.7-29 に示す。

表 5.7-29 中小水力 FIP 情報 テスト項目

番号	テスト内容	期待値	備考
1	中小水力の GIS システムに、FIP 情報観測所レイヤが搭載されていること	観測所が、凡例一覧にある。	
2	観測所レイヤの On/Off ができること。	チェック On：レイヤ表示 チェック Off：レイヤ非表示	
3	観測所レイヤの凡例が表示されること。	観測所レイヤの凡例画像が表示される	
4	観測所レイヤの機能ボタンの押下で、凡例ダイアログが表示されること。	観測所レイヤの凡例ダイアログが表示される	
5	番号 4 で表示したダイアログの透過度の設定が、レイヤに適用されること	透過度に従いレイヤが透過（不透過）状態になる	
6	[FIP 情報] ボタンが表示されている		

番号	テスト内容	期待値	備考												
7	[FIP 情報] ボタンのクリックで、ボタン表示変化する		白抜き表示の時は「FIP 情報」モード												
8	「FIP 情報」モードで地図をクリックするとデータ取得中画面になる														
9	8の後、取得件数がゼロの時、「該当データがありません」のメッセージが表示される。	メッセージ表示													
10	8の後、取得件数が1件の時、該当箇所のFIP情報の月別データが別タブで表示される。	別タブで年度の月別データが表示される													
11	8の後、取得件数が2件以上の時、該当のFIP情報年別データが別ウィンドウで表示される。観測所名、年度、売電平均価格、価格偏差・市場平均価格が表示される。	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>観測所 年度</th> <th>売電平均価格 市場平均価格</th> <th>価格偏差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生田 2017</td> <td>9.39 9.81</td> <td>-0.42</td> </tr> <tr> <td>生田 2018</td> <td>9.06 8.88</td> <td>0.17</td> </tr> <tr> <td>生田 2019</td> <td>7.25 7.18</td> <td>0.07</td> </tr> </tbody> </table>	観測所 年度	売電平均価格 市場平均価格	価格偏差	生田 2017	9.39 9.81	-0.42	生田 2018	9.06 8.88	0.17	生田 2019	7.25 7.18	0.07	期待値の画面、内容は例。
観測所 年度	売電平均価格 市場平均価格	価格偏差													
生田 2017	9.39 9.81	-0.42													
生田 2018	9.06 8.88	0.17													
生田 2019	7.25 7.18	0.07													
	11のダイアログで行をクリックすると、該当する行の月別データが別タブで表示される。	別タブで年度の月別データが表示される													